

⑩ 日本国特許庁 (JP) ⑪ 実用新案出願公告

⑫ 実用新案公報 (Y 2) 昭59-19930

⑬ Int.Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公告 昭和59年(1984) 6月9日

G 11 B 3/60
B 32 B 27/36
C 09 K 3/00

101

7247-5D
6921-4F
7419-4H

(全2頁)

1

2

⑮ レコードプレーヤのターンテーブル

⑯ 実 願 昭53-118958

⑰ 出 願 昭53(1978) 8月29日

⑱ 公 開 昭55-36463

⑲ 昭55(1980) 3月8日

⑳ 考 案 者 川口 昭博

寝屋川市日新町2番1号 オンキ
ヨー株式会社内

㉑ 出 願 人 オンキヨー株式会社

寝屋川市日新町2番1号

㉒ 代 理 人 弁理士 佐当 弥太郎

㉓ 実用新案登録請求の範囲

片面又は両面にポリウレタン系樹脂等の損失係
数大なる塗装層を形成し、その上面に不飽和ポリ
エステル系樹脂等のヤング率の高い塗装層の被膜
を積層して形成した事の特徴とするレコードプ
レーヤのターンテーブル。

考案の詳細な説明

本考案は表面に積層塗装を施し、振動を抑制し
たレコードプレーヤのターンテーブルに関するも
のである。

従来、レコードプレーヤのターンテーブルの裏
面にゴム板を貼りつけたり、合成樹脂を塗布した
りして、モーター其の他より伝播せる振動を抑制
していた。しかしながら制振材として損失係数が
0.1 近くになるものは無かった。従つてターン
テーブルの鳴きを十分に抑えられないと云う欠点
があつた。

本考案は上記の欠点を取除く為に考案されたも
ので、図面に示す実施例について説明すれば、第
1 図に示すごとく、ターンテーブル3 の裏面にポ
リウレタン系樹脂等の、損失係数が大きい塗料1
を塗布し、乾燥させた後、その上面に不飽和ポリ
エステル系樹脂等のヤング率の高い塗料2 を塗布
して硬化させ、積層被膜を形成せるレコードプ

レーヤのターンテーブルである。本考案の制振材
と従来の制振材の損失係数の測定結果を下記の表
に示すものである。テストピースは幅 15 mm、長さ
130 mm、厚み 2 mm のアルミニウム板に従来例とし
て 2 mm 厚のゴムシートを成層したものおよび 2 mm
のエポキシ系樹脂を成層したもの、および本考案
実施例としてポリウレタン系樹脂を 0.3 mm 成層し
更にそのうえに不飽和ポリエステル系樹脂を 1.7
mm 成層したもので、温度 20°C、湿度 62% で振動減
衰率すなわち損失係数を測定したものである。

80 Hz に 於 て 500 Hz に 於
て

| | | |
|---------|--------|--------|
| ゴムシート | 0.0049 | 0.0049 |
| エポキシ系樹脂 | 0.012 | 0.010 |
| 本考案積層被膜 | 0.064 | 0.09 |

上記の表に見られるように本考案積層被膜を形
成すると、損失係数が 0.1 近くになり、制振材と
しての効果が他の制振材と比較して格別に顕著で
ある。

第 2 図はゴムシートを制振材に使用した場合、
第 3 図はエポキシ系樹脂を制振材に使用した場
合、第 4 図は本考案積層被膜を制振材に使用した
場合、の各振動特性図で、第 4 図では第 2 図、第
3 図に比較して周波数特性に於て鋭度の小さいも
のとなつている。この考案によりこのような顕著
なる制振効果が得られる理由としては損失係数の
大きいポリウレタン系樹脂層とヤング率の高い不
飽和ポリエステル系樹脂層との積層構造を有する
ことがあげられる。

一般に振動体面上に制振材を成層することによ
り振動体の振動が抑制される理由としては振動エ
ネルギーが制振材において熱エネルギーに変換さ
れ消散されるためであるが、振動体 (ターンテー
ブル) に従来のように制振材層のみを成層した構
成では制振材ののび変形のみによる熱エネルギー
への変換による制振作用しか呈しないのに対し、
本考案は制振材の上に更にヤング率の大きい層を

(2)

実公 昭 59-19930

3

形成したので、制振材ののび変形による熱エネルギーへの変換に加えて制振材のずり変形による熱エネルギーへの変換が行なわれるのために顕著なる制振効果が得られる。

実施例ではターンテーブル3の裏面に積層被膜を塗布しているが、表面又は両面に塗布してもよい。

本考案は以上に述べたように、レコードプレー

4

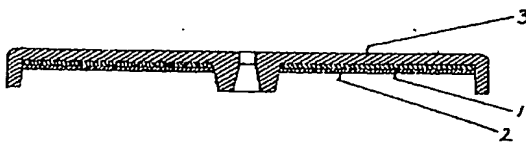
ヤーターンテーブル表面に損失係数大なる塗装層と、その上面にヤング率の高い塗装層の積層被膜を形成すると云う巧妙な方法で振動を抑制するもので、実用効果大なる考案である。

図面の簡単な説明

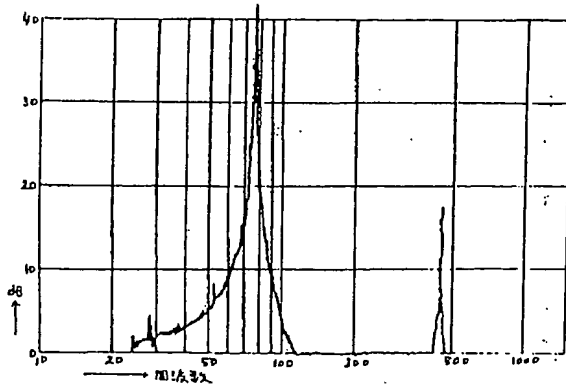
第1図は本考案のターンテーブル構成図、第2図、第3図、第4図は振動特性図。

1、2は塗料、3はターンテーブル。

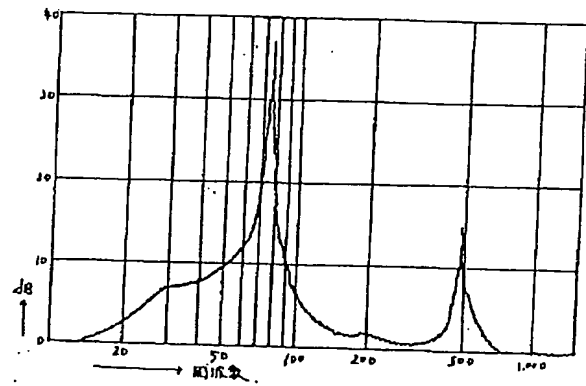
第 1 図



第 2 図



第 3 図



第 4 図

